

受賞者の概要

1 農業経営の部

今回の農業経営の部には、各地から6点の応募があった。受賞された方々は先見性のある経営戦略のもと、ICT技術の活用による生産性向上やコスト削減等の努力に加え、販売方法についても様々な創意工夫を重ねることで、高い所得を確保しており、本県の農業振興に大きく貢献し、農業者の模範となる経営が多く見られた。

審査は、「経営、生産技術、販売」の評価を基本に、地域貢献や環境負荷の低減、安全・安心といった観点を加えて行い、書類審査及び現地審査を経て各賞を選出した。

【大賞（農林水産大臣賞・栃木県知事賞）】

◆株式会社 Kuni's ファーム（上三川町）

●経営の特色

- ・自分自身が「おいしい」「また食べたい」と思える牛肉の生産を目指し、雌牛のブランド化に取り組んでいる。
- ・肉質や食味の化学的分析結果、需要者などの意見を基に飼養方法や飼料の種類などを研究し、また、地域で出荷できないいちごを粉末状にして飼料に混ぜるなど、オリジナルブランド「とちおとめ牛」を確立している。
- ・販売では、牛肉食品加工会社を経営する弟と連携し、精肉店や焼肉店に卸されるほか、成城石井でも販売されるなど販路を拡大している。
- ・農地の担い手として水田を借り、米を販売するだけでなく、稲わらは飼料として自家利用、ほ場には堆肥を還元するなど「地域循環型飼育」を図っている。
- ・将来の地域農業を支える人材の確保に向けて、若手従業員を積極的に雇用し、育成に力を入れている。

●受賞のポイント

オリジナルブランドを確立し、有利販売を実現するだけでなく、地域農業の担い手として農地の維持保全に取り組み、また、後継者として従業員の育成に取り組んでいる点が特に高く評価され、大賞に選出された。



代表取締役 前原邦宏 氏



牛舎作業の様子

【栃木県知事賞】

◆株式会社 Universal Yard（栃木市）

●経営の特色

- ・トマトの越冬作型 120a を中心とした経営。品質の向上により出荷ロスが低減し、単収は 30t/10a を安定して達成している。
- ・年齢や性別・障害の有無に関係なく、誰もが安心して働くことができる職場づくりに取り組んでいる。

●受賞のポイント

データ分析に基づく生産管理や改善、作業動線を考慮した働く環境の整備、チーム制での作業管理などにより生産技術、施設整備、労働環境等が体系化され、また、若手農家に栽培技術や労務管理を指導するなど、部会や地域のリーダーとしての取組が高く評価された。



代表 舩田愛 氏・真由美 氏



トマト収穫の様子

【栃木県知事賞】

◆株式会社山田農園（真岡市）

●経営の特色

- ・水稲 33ha、そば 48ha を中心に二条大麦、大豆を組み合わせた土地利用型の経営を行っている。
- ・スマート農業、データを活用した生産を行い、大型機械を積極的に導入することで作業の効率化や軽労化を図っている。

●受賞のポイント

海外への米の輸出にチャレンジしたり、酒米を導入したり、農産物検査員資格を取得し、直接販売に力を入れるなど有利販売を意識した経営が高く評価された。



代表取締役 山田光則 氏



大型トラクター

【栃木県知事賞】

◆伊藤高行・伊藤結花（那須町）

●経営の特色

- ・祖父の代からの乳牛の情報を整理し、効率的な牛群改良を実践している。
- ・機械化やスマート技術導入による生産効率の向上、育成部門の外部化や頭数に見合った飼料生産基盤の拡大を図っている。

●受賞のポイント

血統図を作成によるデータを活用した牛群改良や機械導入による軽労化、農地を拡大し効率的な飼料作物の生産を図るなど低コスト化への取り組み等が高く評価された。



伊藤高行 氏・結花 氏



牛舎の様子

2 農村活性化の部

今回の農村活性化の部には、各地から7点の応募があった。他の組織と連携し、地域資源や人材を活かした地域活性化に取り組み、地域の魅力発信による交流人口の増大に寄与するなど、本県の農村活性化に大きく貢献し、他地域の模範となる組織・団体が多く見られた。

審査は、「地域づくりの担い手の確保、地域農林水産業への寄与、住みよい農村環境の保全・向上」の評価を基本に、地域づくりのための自主的な努力・創意工夫や、合意形成・計画性、推進体制の整備・運営といった観点を加えて行い、書類審査及び現地審査を経て各賞を選出した。

【大賞（関東農政局長賞・栃木県知事賞）】

◆株式会社美土里農園（茂木町）

●活動の特色

- ・高齢化などにより作付け困難な農地を借り受け、いちごやアスパラガス、そばなど栽培し、直売するほか、いちごの摘み取りの観光農園を運営している。
- ・販路先のもてぎプラザ、いい里さかがわ館と連携して、規格外品を活用した冷凍いちご、ジャム、ピューレなどの商品開発を行っている。
- ・クリーン作戦やお祭りなどの地域活動の集まりやイベント時の場としても「観光いちご園 美土里農園」を提供し、地域コミュニティ活動の強化、都市住民との交流等へ寄与している。
- ・地域おこし協力隊を活用し、地域外から若い農業の担い手を呼び込み、育てることで、任期終了後の茂木町への定住を図っている。

●受賞のポイント

関係機関、団体、大学など多くの関係者と連携し、茂木町の遊休農地解消、農業、農村の持続や交流人口の増加に貢献してきた点と、新たな高収益作物の模索や獣害対策など中山間地域のモデルとなる取り組みにも積極的であり、今後も地域活性化への貢献が期待される点が特に高く評価され、大賞に選出された。



美土里農園の従業員



いちご収穫の様子

【栃木県知事賞】

◆株式会社アグリパル塩原（那須塩原市）

●活動の特色

- ・「道の駅」が、様々な取り組みを生むキーステーションとなり、地域をどう活性化していくか様々な視点で検討、実現している。
- ・オリジナル商品開発の取組、農村レストランの運営強化、自治体や学校との協働などに取り組む。

●受賞のポイント

地産地消に徹底的にこだわりながら、地域内に安定した雇用の場や循環経済を確保していること、地元の農業者を中心とした組織運営と創意工夫による、地域資源を磨き上げた魅力あふれる売り場の実現などが高く評価された。



アグリパル塩原の従業員



オリジナルドレッシング

【栃木県知事賞】

◆大谷グリーン・ツーリズム推進協議会（宇都宮市）

●活動の特色

- ・農商工の各種団体が一体となり、地域の活性化、大谷地域の資源を活かしたコンテンツの創出による魅力発信や交流活動に取り組む。
- ・農業体験や里山体験などのイベントのほか農家民泊等更なる活動の発展等にも積極的である。

●受賞のポイント

インバウンドなどの幅広い展開や会費に頼らない自走での活動、推進体制、全国に向けた誘客等が素晴らしく、今後の更なる発展が期待できる点が高く評価された。



協議会のメンバー



活動の様子

【栃木県知事賞】

◆那珂川町中山間地域活性化協議会（那珂川町）

●活動の特色

- ・中山間地域等直接支払制度第5期対策に移行するにあたり、55集落を一元化し、統一的な事務作業や広域的な保全活動に取り組む。
- ・農道及び水路の整備や農業生産活動、また、棚田オーナー制度等の地域活動を通じて都市農村交流に取り組んでいる。

●受賞のポイント

中山間地域の55集落を一元化させた点、米のブランド化、農家民泊にも積極的に取り組み、コミュニティの活性化を図っている点が高く評価された。



会長 岡一也 氏



検討会の様子

3 芽吹き力賞

今回の芽吹き力賞には、各地から7点の応募があり、自身の経験に基づく独自性の高い農業に取り組む若手農業者が多く見られた。それぞれが理想とする農業の実現を目指し、着実な規模拡大を図るだけでなく、独創的かつ効果的なブランド化を行うなど、今後の発展が期待される。

審査は「活動の動機と着想、課題解決に向けた創意工夫」の評価を基本に、推進体制や活動の成果、今後の発展性といった観点を加えて行い、書類審査及び現地審査を経て各賞を選出した。

【栃木県知事賞】

◆益子智史（鹿沼市）

●活動の特色

- ・Uターン就農後、儲かるにらの企業的経営を目指して、栽培技術の向上、出荷調整作業の省力化、栽培面積の拡大、雇用労働力の確保など優先順位をつけながら一体的に取り組み、経営を発展させてきた。
- ・新技術・装備の導入効果は地域生産者にフィードバックしたり、他産地の若手生産者と情報交換したりしている。

●受賞のポイント

前向きで旺盛なチャレンジ精神、部会トップクラスの収量を連続で達成しており、規模拡大しながらも高品質を維持し、機械の導入や雇用の活用により労働時間を短縮するなど労働生産性を向上させた点、ICT 技術の積極的な導入及び地域へのフィードバックなど今後の産地の維持、発展への貢献が大いに期待される点が高く評価された。



益子智史 氏（左）と従業員



にら出荷調整作業の様子

【栃木県知事賞】

◆Heartich Farm（真岡市）

●活動の特色

- ・なす専業の実家にUターン就農し、ネット販売や加工食品開発など自らの考えを、いろいろな人や企業と連携し実現している。
- ・農業収入の安定化としてのネット販売や加工品開発、ブランド構築による有利販売、消費者の顔が見える農業のあり方としてユニークな農業体験などに取り組んでいる。

●受賞のポイント

なすのオリジナルブランドの確立や「なす苗の里親プログラム」などユニークな農業体験によるアワード受賞、プラスアルファの発信、販売実績の向上などが高く評価された。



代表 賀川元史 氏



オリジナルブランド「ごほう美ナス」

【栃木県知事賞】

◆野口夏希（栃木市）

●活動の特色

- ・実家のぶどう農家にUターン就農し、人気のシャインマスカットを導入するだけでなく、先々を見据えた販売戦略として、差別化による有利販売を目指し、貯蔵による出荷期間の延長、夏季の高温対策としての植物ホルモン剤の検討や高温に強い品種の検討などに取り組んでいる。

●受賞のポイント

部会への波及を意識して、より簡易な貯蔵の検討を進めたり、後継者主体の活動を意識したりするなど、今後の産地発展への活躍や貢献が大いに期待される点が高く評価された。



野口夏希 氏



野口夏希 氏（左）と家族